

「旭市地域公共交通網形成計画」策定

もっと身近にもっと使いやすく

人口が減少する中、公共交通の持つ役割も変化しています。さらに増加が予想される交通弱者に対し、移動手段の確保などの課題を解決するため、地域全体の交通体系を見直す新たな計画を策定しました。

計画の目的

地域にとってより望ましい公共交通の在り方を検討し、市民にとって利用しやすく、持続可能な公共交通体系を実現するため、基本的な方針などをまとめました。この計画を基に、今年度から平成34年度までの5年間で、地域公共交通の具体的な再編に取り組んでいきます。

地域公共交通を取り巻く課題

- 高齢化などで増えている交通弱者が、外出しやすい移動手段の確保。
- コミュニティバスなどの利便性の向上と、交通空白地域の解消。
- 道の駅季楽里あさひや新庁舎など、新たなまちづくりの拠点施設へのアクセス向上。
- 公共交通の利用促進と、適正な利用料金による持続性の確保。
- 観光などによる交流人口を増

やすため、駅から観光地などへの移動手段の確保。

3つの基本方針

利用しやすい公共交通の実現
広域交通と市内交通が連携し、分かりやすく利用しやすい交通ネットワークをつくります。

持続可能な公共交通の実現
市・住民・交通事業者などが協働して、持続可能な公共交通をつくります。

まちづくりと連携した公共交通の実現
市のまちづくりに関係する計画と連携した、交通環境をつくります。

7つの施策について検討・実施

広域交通ネットワークの充実
鉄道事業者への要望活動や、高速バスの増便などを検討します。

路線バスの活性化と維持
電車と路線バスの発着時間の調整などを検討します。

地域内交通の再編

コミュニティバスのルートや運行時刻の見直し、乗り合いタクシーによるデマンド交通の導入を検討します。

利用料金の適正化

コミュニティバスの運賃の改定や、回数券の導入について検討します。

総合的な公共交通の情報提供

電車やバスなどの総合的な公共交通マップの作成や、市ホームページなどで情報提供をします。

交通機関の乗り換え場所などの整備
まちづくりと連携して、交通機関の乗り継ぎや、乗り換え場所の整備を検討します。

公共交通の利用を促進
公共交通を利用した外出例の作成や、商業施設などと連携した割引券の導入などを検討します。

公表しています

この計画の全文は市ホームページのほか、市役所本庁、各支所で見ることができます。

問い合わせ先

企画政策課企画調整班

☎ 62・5307